

11/21

Fri

研究校 伊那市立高遠小学校

共同研究者 山浦 貞一
(信州大学 教職大学院 特任教授)

対話を通して、見方・考え方を広げる 道徳教育の実践

子どもが問題意識をもち、対話を繰り返しながら学ぶ姿を大切にし、自分にとっての「納得できる答え」を追い求めていけるよう、授業づくりやカリキュラムの改善に取り組んでいます。

6月の事前研究会では、すべてのクラスで授業を公開し、共同研究者の山浦先生とともに道徳授業について語り合いました。その中で、問題意識を持たせる導入の工夫、子どもの話したい気持ちから自然と生まれる対話、自分の考えや変化に気づく振り返りの積み重ねなど、具体的な課題を共有しました。また、教師の発問が中心の誘導型授業から、子どもたちが心ゆくまで追求し、自分なりの納得解を得る授業へ転換していくことの必要性も再確認しました。

9月にも全クラスで授業を行い、それぞれの課題に対して全職員が挑戦し続けている姿を見ていただきました。教師同士が気軽に意見を交わせる本校の強みを活かし、研究会でも対話を大切にしながら研究を深めています。

授業学級である6学年の児童37人は、保育園からほぼ同じメンバーで生活しており、互いに言いたいことを自由に言える土壌があります。授業に限らず学校生活の様々な場面で自らの価値観が揺さぶられる出来事と出合ったとき、子どもたちは自然と語り出し、友と関わりながら自らの考えをより広げたり深めたりしています。授業アンケートでも「みんなと考える授業が楽しい」「みんなと話す授業が好き」という子どもが多くいます。友や教師と語り合い、「自分なりの答え」をわくわくしながら探していく道徳の授業を展開したいと考えています。



共同研究者 山浦先生から

「心の豊かさ」を探す鬼のコマーシャルを視聴しながら、この先の社会において求められる「心の豊かさ」とは何だろうと引き込まれました。宮川学級では子どもの力を信じ、対話を通して納得できる正解を探していく学びが展開されます。高遠小の先生方が楽しんで道徳授業をしている姿を多くの皆さんにご覧いただけることを願っています。



～日程～

- | | |
|--------------|-------------|
| ① 受付 | 12:30～12:50 |
| ② 開会式 | 13:00～13:10 |
| ③ 研究説明 | 13:10～13:25 |
| ④ 授業公開 | 13:30～14:15 |
| ⑤ 授業研究会 | 14:25～15:15 |
| ⑥ ワークショップ・講演 | 15:20～16:20 |
| ⑦ 閉会式 | 16:20～16:30 |